

3

まちづくりの方針

二川宿景観形成地区には、江戸時代から引き継がれてきた歴史的なまち並み景観が残り、神社の例祭などを通じて伝統と文化が継承されています。

今後もこれらの環境を大切に、暮らす人や訪れる人にとって魅力あるまちとなるよう、ここに「まちづくりのテーマ」と「まちづくりの基本方針」を定めます。

◆まちづくりのテーマ

歴史の薫るまちづくり

— 格子が残り、山車が映えるまち並み —

— 過去と未来、人と人を糸でつなぎます —

◆まちづくりの基本方針

- 1 歴史と調和し、伝統が息づく美しいまち並みをつくる
- 2 ここちよく落ち着いて暮らせ、誇りに思えるまちをつくる
- 3 訪れる人々が安らぎを感じ、また来たくなるまちをつくる

二川宿のまち並みは、切妻屋根の家々が軒を連ねて建ち並ぶ姿が特徴となっており、その落ち着いた景観は近年まで引き継がれてきています。

そこで、この歴史的な特徴を大切にするとともに、まちづくりが継続されるよう新しい生活様式への適応も考慮し、ここに「まち並み景観の目標イメージ」を定めます。

◆まち並み景観の目標イメージ

歴史的な建造物と新たな建物が美しく調和したまち並み

先人たちが築き、受け継いできた「切妻平入りの家々が建ち並ぶ落ち着いたまち並み景観」を大切に、伝統様式の建物とこれらに調和する新しいデザインの建物が美しく調和したまち並みを創造する。

※この方針は、「二川宿まちづくり会」と「大岩町東まちづくり会」、「大岩中まちづくり会」の協定書の方針と整合を図りつくられています。